

式 辞

やわらかな春の日差しが降り注ぐ、穏やかな季節となって参りました。校庭の花々も色とりどりに咲き、まさに、「希望の春」です。(中略) 本日ここに、令和五年度の入学式を挙げていただけますことを、心より感謝申し上げます。(中略) 本校では、「豊かな人間性をもち、意欲的に勉学に励み、未来(あす)を創る力を備えた心身ともに健康な生徒を育てます。」という学校教育目標のもと、「豊かな心をもつ生徒」「進んで学ぶ生徒」「たくましくやりぬく生徒」を具体目標として教育活動を展開しています。

その目標を達成するために、新入生に一つお話をします。次にある数字を述べますがこの数字は何の数字か考えながら聞いてください。ヒントは、日本中を熱狂させたある選手の数字です。928、647、59、281、506、692、無限大、0です。さて、何の数字でしょうか。答えは、WBCで大活躍した大谷選手に関する数字です。CMでも流れているのでピンときた新入生もいたのではないのでしょうか。大谷選手がプロ入りしてから昨年までの数字ですが、928は三振をした数、647は打たれたヒットの数、59はホームランを打たれた数、281は失点した数、692は、怪我で投げられなかった日数です。無限大という数字は、二刀流が無理だと周囲の人から言われた回数です。そして、最後の0という数字は、大谷選手本人が二刀流は無理だと思った回数だそうです。今では、大谷選手に憧れ、プロ野球選手の中でも二刀流に挑戦する選手が出て来ましたが、大谷選手がプロ野球に入った時は、誰もが二刀流なんて不可能だと考えていました。でも、大谷選手は、投手と野手として同時にプレーする二刀流を不可能とは考えず、日々の練習に励み、見事に二刀流を実現させたのです。最初に述べた928、647、59、281、506の数字は、全てが失敗の数です。大谷選手は、その失敗の数を失敗と捉えず、自分を成長させるために必要なものと積極的に捉え、その失敗から課題を見つけ、自分自身を鍛えていったのだと思います。失敗や挫折を失敗したとか、挫折したと考えずに、自分自身を成長させるために必要なものと捉え、それらを乗り越える強い意志をもってほしいと思います。そして、何より、自分自身の可能性を信じ、それに挑み続ける強い精神力を身に着けてほしいと思います。

結びに、保護者の皆様に申し上げます。思春期を迎える中学校での3年間は、お子様が心身ともに大きくたくましく成長する時期でもあります。一方で、自立に向けて悩みや葛藤を抱えやすい時期でもあります。悩みや葛藤を仲間と乗り越えていくからこそ、自立に向けて大きく歩みだす時期といえると思います。保護者の皆様には、こうした時期に時に人生の先輩として、共に生き方を語り合える親子の関係も大切にいただければと思っております。また、お子様の健やかな成長のためには、地域の皆様にもお力添えをいただきますようお願いいたします。私たち教職員も本気で生徒と向き合っていく所存です。皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。私からの式辞といたします。